

2015(平成27)年3月期 第1四半期決算補足資料

(2014年4月1日～2014年6月30日)

1. 2015.3期 第1四半期実績

(百万円)

	'15.3期1Q 実績	'14.3期1Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	7,577	7,647	-69	-0.9%
営業利益	1,187	2,135	-948	-44.4%
経常利益	1,549	2,343	-794	-33.9%
四半期純利益	1,251	2,137	-886	-41.5%
研究開発費	1,615	1,294	+320	+24.8%
研究開発費率	21.3%	16.9%	+4.4pt	-
営業利益率	15.7%	27.9%	-12.2pt	-
1株当たり四半期純利益(円)	22.02	37.62	-15.60	-
期中平均レート(1US\$/円)	102.16	98.76	-	-

<第1四半期実績と前年同期実績との差異要因>

売上高: 国内医薬品の販売数量やLALの売上が増加した一方で、国内における薬価引き下げや、海外医薬品が前年同期高水準だった反動があり前年同期並みとなった。なお、売上高全体への円安効果は約1.4億円。

(-69) ・国内アルツは、市場全体が横ばいで推移するなか、医療機関納入本数が増加(+2.3%)し、シェアも上昇。

当社売上は薬価引き下げの影響を受けたが、販売提携先への前倒し出荷があり増加。

・米国向けスパルツは、3回投与の競合品が売上を伸ばしており、その煽りを受け減少。当社売上も、前年同期の販社在庫積み増しの反動があり減少。

・中国向けは現地成長(約+16%)が続き好調維持。当社売上は、前年同期の出荷が高水準だったため減少。

・米国向けジェル・ワンは、前期に契約した大手医薬品卸経由の販売も増加するなど、市場浸透が着実に進む。しかしながら、当社売上は現地の在庫調整があり、前年同期並みに留まる。

営業利益: 薬価引き下げや新生産設備稼働に伴う償却費増加、海外医薬品の数量減などにより売上総利益が減少。

(-948) 米国SI-6603等の各開発テーマ進捗による研究開発費や、ジェル・ワン等の販売関連費用も増加し、減益。

経常利益: 投資有価証券売却益を計上し減益幅が縮小。

(-794)

四半期純利益: 前年同期は特別損失を上回る特別利益があったが、当四半期は無かったことにより減益。

(-886)

2. 2015.3期 第1四半期事業セグメント別売上高

(百万円)

	'15.3期1Q 実績	'14.3期1Q 実績	前年同期比		(参考)	
			増減	増減率	'15.3期予想	'14.3期実績
【医薬品事業】	6,246	6,629	-382	-5.8%	24,600	25,342
国内医薬品	4,560	4,412	+147	+3.4%	17,300	17,995
海外医薬品	1,307	1,902	-595	-31.3%	5,800	5,717
医薬品原体	379	314	+64	+20.6%	1,500	1,630
【LAL事業】	1,330	1,018	+312	+30.7%	4,550	4,271
合計	7,577	7,647	-69	-0.9%	29,150	29,614
(海外売上高)	2,309	2,606	-296	-11.4%	9,150	8,802

3. 通期業績予想と進捗率 (2014年5月13日に公表しました予想に変更ありません)

(百万円)

	'15.3期 予想	'14.3期 実績	前期比		'15.3期1Q 実績	進捗率
			増減	増減率		
売上高	29,150	29,614	-464	-1.6%	7,577	26.0%
営業利益	2,750	4,937	-2,187	-44.3%	1,187	43.2%
経常利益	4,200	5,878	-1,678	-28.5%	1,549	36.9%
当期(四半期)純利益	3,450	4,745	-1,295	-27.3%	1,251	36.3%
研究開発費	7,300	6,588	+711	+10.8%	1,615	22.1%
研究開発費率	25.0%	22.2%	+2.8pt	-	21.3%	-
営業利益率	9.4%	16.7%	-7.3pt	-	15.7%	-
1株当たり当期(四半期)純利益(円)	60.73	83.55	-22.82	-	22.02	-
期中平均レート(1US\$/円)	102.00	100.24	-	-	102.16	-